板橋区立エコポリスセンター

登録環境団体 ハンドブック

2026 年度

ごあいさつ

板橋区立エコポリスセンターは、1995 年に開館して以来、様々な講座やイベント等の事業を企画運営してまいりました。

おかげさまで登録環境団体の皆さまをはじめ、区内在住・在勤・在学の皆さまや、区内事業者の方など、多くの方々にエコポリスセンターをご利用いただくようになりました。

ご登録いただいている登録環境団体は、2026 年 10 月現在で 19 団体となります。日々の団体の皆さま独自の活動だけでなく、エコポリスセンターで行われる様々な講座やイベント等にもご協力をいただいております事、心から感謝申し上げます。

この冊子は、登録環境団体の皆さまにご協力をいただき、登録環境団体の皆さまの情報をまとめたものです。団体の皆さま相互の情報交換をはじめ、一人でも多くの方々にご覧いただき、環境活動への意識や関心を高め、環境団体の皆さまとともに板橋区を中心にご活躍される方が増えますよう願いを込めて作成いたしました。ご高覧いただき、今後の活動や事業などでご活用いただけましたら幸いです。

今後も、エコポリスセンターでは各事業の充実はもとより、地域の環境活動の拠点となり、様々な情報発信ができますよう一層努めてまいりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

2026 年
板橋区立エコポリスセンター

登録環境団体 （50 音順）

1. 生きもの愛好会.....3
2. いたばしエコ塾.....5
3. 板橋切り絵愛好会.....7
4. 板橋区の蝶を調査する会 9
5. いたばし水と緑の会.....11
6. いちご会.....13
7. 一般社団法人 水と緑と命のネットワーク.....15
8. ウェルビーイング倶楽部.....19
9. エコ紙漉きはがき絵の会.....24
10. エコポリス板橋環境行動委員会前野町四丁目支部.....26
11. ＮＰＯ法人 いた・エコ・ネット.....29
12. ＮＰＯ法人 SDGｓいたばしネットワーク.....32
13. ＮＰＯ法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア.....34
14. ＮＰＯ法人 水未来人.....36
15. おもちゃの病院板橋.....38
16. おもちゃの病院エコポリス.....40
17. さきおりの会.....42
18. 野草友の会.....44
19. 和紙ちぎり絵の会.....46

環境団体名称	生きもの愛好会（イ アイコウカイ）
代表者（事務局）	山田 尚子（ヤマダ ナオコ）
連絡先	Email：ikimono.aikoukai.itabashi@gmail.com
登録人数	11 名
団体URL	インスタグラム（https://www.instagram.com/ikimono.aikoukai.itabashi）
活動内容	「身近にある当たり前と思っている自然を一つ一つ丁寧に調べていくと意外な一面、今だに解けていない不思議が見えてきます。講師・生徒という立場を超えて、お互いに語り合うことにより、新たな発見や予想を超えた結果が生まれます。その時の感動を多くの方々と共有したいと思っております。」との講師、安田篤先生の板橋区から理科好きの子供達や大人の皆さんと一緒に生き物を通して自然保護の大切さや不思議を体感していこうとのお心から、エコポリスセンターや都内各所で自然観察会、化石堀り、動物園、国立科学博物館、国立極地研究所等へ赴き、楽しく深く学んでいます。
団体紹介	生き物が大好きで、好奇心いっぱいの小・中高生の子供達と保護者数名が、元科学館職員の安田篤先生を講師におむかえして 2023 年に発足しました。安田先生が会開催のたびに貴重な資料や教材を手作りでご準備くださり、見て・触れて・感じながら毎回あふれんばかりの質問に真剣に丁寧にこたえてくださる安田先生との学び合いの中で子供達や大人まで、生き物への「好き」や「知りたい」、「守りたい」とのおもいを育くまれている小さいながらも温かな団体です。ぜひ子供も大人もお気軽にご参加ください。
活動日	各所で随時
活動場所	エコポリスセンター、他 都内近郊各所
その他・写真	

活動報告

＜2024 年度＞

・屋外活動

国立科学博物館見学会

上野動物園観察会

・定例会

珍しい生き物

羽のある生き物

外来種

＜2025 年度＞

・屋外活動

高尾山動物観察会

極地研究所見学会

理化学研究所見学会

・定例会

絶滅生物

海に生きる生き物

環境団体名称	いたばしエコ塾（ジュク）
代表者（事務局）	森木（モリキ） 美登利（ミドリ）
連絡先	Email：eco3r.juku@gmail.com
登録人数	8名
団体URL	板橋区SGDsプラットフォーム → Instagram →
活動内容	・環境に関する勉強会、啓発活動、政策提言、その他環境活動 ＊2026年は毎月一回の定例会のほか、プラスチック3Rカードゲーム講座の実施や清掃活動、環境展示出展、講演会開催等予定。
団体紹介	・団体は、区が実施している環境教育指導者養成講座（板橋エコみらい塾）の卒塾生等で構成しています。 ・現在の板橋区の環境課題をプラスチックごみリサイクル推進と捉え、課題解決のために住民意識の向上を目指すことを当面の目的としています。 ・複雑なプラスチック問題を分りやすく区民・子ども向けに情報提供するための教材（カードゲーム）を開発しました。
活動日	毎月第3土曜日
活動場所	エコポリスセンター 2階 環境学習室
その他・写真	

活動内容

主な活動：
出張講座実施、展示会出展、ごみ拾い活動、最新の環境情報の勉強会、各企画実施

▼環境展示会出展
・エコライフフェア出展
・環境見本市出展、はぎれ小物作りコーナー／ミニ講演会開催

▼出前講座
・プラスチック３R 推進カードの出前講座（蓮根支部女性部、前野町町会）

▼ごみ拾い活動
河川敷でのごみ拾い活動（2 回）
板橋区ごみ拾い選手権への参加
▼作製したもの
・チラシ＜プラスチックはえらんで減らしてリサイクル＞改訂版
・エコライフフェア・見本市用啓発ポスター改訂版、その他

◆定例打ち合せ：毎月第 3 土曜 10 時より　於：エコポリスセンター
◆追加：展示会・出前講座打ち合わせ：エコポリスセンターで必要に応じ実施。zoom で実施

環境団体名称	イタバシ キ エ アイコウカイ 板橋切り絵愛好会
代表者(事務局)	モリウチ チカラ 守内 近良
連絡先	TEL：080-5642-9043 Email：mo_ri2200@yahoo.co.jp
登録人数	21 名
団体URL	
活動内容	1.和紙を使った切り絵を楽しんでいます。 2.和紙は環境に優しく、自然環境の中で比較的容易に循環(再利用)出来る素材と言えます。和紙の原料の多くは栽培されていて、自然の山等の環境を壊さない。 3.和紙を使って、自分達の環境や周辺の草花などをじっくり観察しながら、切り絵の作品を創り上げています。 毎年区民展・グループ展等でその成果を発表しています。
団体紹介	・切り絵を通して地域との交流を目指し、切り絵の技量の研鑽に努める。 ・切り絵作品の発表の場を求め積極的に公募展やグループ展等に参加出来る。 ・都展や関西扇面芸術展・日仏現代美術展等に出展できます。
活動日	基本的に第 2 水曜日・第 2 木曜日・第 4 水曜日の 3 回です。 時間は 13 時～16 時迄。
活動場所	エコポリスセンター
その他・写真	板橋切り絵愛好会でグループ展を 9 月に実施。

活動報告

2025 年 1 月～12 月まで

日　時	参加数	テ　ー　マ
1月8日	11	新年度の各自の抱負と目標
1月9日	2	新年度の各自の抱負と目標
1月22日	10	
2月5日	10	2月の課題と切り絵の技法
6月28日	6	2月の課題と切り絵の技法
2月19日	9	2月の課題と切り絵の技法
3月5日	8	3月の課題と切り絵の技法
3月13日	5	3月の課題と切り絵の技法
3月19日		豪雨で教室休み
4月9日	8	4月の課題と切り絵の技法
4月10日	9	4月の課題と切り絵の技法
4月23日	8	4月の課題と切り絵の技法
5月7日	5	9月グループ展の作品の準備
5月8日	7	9月グループ展の作品の準備
5月21日	9	9月グループ展の作品の準備
6月5日	6	9月グループ展の作品の準備
6月11日	3	9月グループ展の作品の準備
6月25日	0	豪雨で教室休み
7月9日	6	9月グループ展の作品の準備
7月10日	3	9月グループ展の作品の準備
7月23日	9	9月グループ展の作品の準備
8月13日	9	9月グループ展の作品の準備
8月14日	6	9月グループ展の作品最終チェック
8月27日	8	9月グループ展の作品最終チェック
9月10日	7	9月グループ展の作品最終チェック
9月11日	4	9月グループ展の作品最終チェック
9月24日	10	9月グループ展の作品最終チェック
9/30～10/5		第29回板橋きりえ展(成増アートギャラリーB)総入場者数360名
10/15～10/19	1	第60回　美術家作品展　守内参加
10/16～10/20	11	第60回板橋区民美術展　11名参加
10/2～10/31	1	エコポリ1階ガラスケースで「ブルーな切り絵展」守内
10月8日	10	下絵の描き方と写真の切り取り方
10月9日	5	下絵の描き方と写真の切り取り方
10月29日	9	下絵の描き方と写真の切り取り方
11/1～11/8		第60回都展　守内「ブルーな切り絵」P40「秩父夜祭」F60
11/1～11/30	18	エコポリ1階ガラスケースで色紙作を展示
11月5日	9	来年の干支の午の下絵と作品
11月6日	5	来年の干支の午の下絵と作品
11月19日	10	来年の干支の午の下絵と作品
11月26日	15	花ぐるまにて懇親会
12月3日	10	下絵の構想「この木なんの木」の下でどんな行動をしますか？その理由を述べよ。
12月4日	5	下絵の構想「この木なんの木」の下でどんな行動をしますか？その理由を述べよ。
12月24日	6	下絵の構想「この木なんの木」の下でどんな行動をしますか？その理由を述べよ。

合計　293

環境団体名称	板橋区の蝶を調査する会（イタバシク チョウ チョウサ カイ）
代表者（事務局）	神山（カミヤマ） 健次（ケンジ）
連絡先	TEL：03-3932-4782 Email：k_kami@navy.plala.or.jp
登録人数	22 名
団体URL	
活動内容	板橋区で見られる蝶の観察を行っています。活動時期は 3 月～11 月で、月 1 回土曜日（年間スケジュールによる）板橋区内の公園や荒川河川敷等で観察会を開催しています。観察結果はエコポリスセンターのサイトに掲示していただいております。 また、板橋区で見られる蝶のデジタル図鑑をエコポリスセンターのホームページに掲載協力をしています。なお、蝶の生態を調べる為に飼育も行います。板橋区外での蝶の観察も実施しています。
団体紹介	2005 年にエコポリスセンターの地域自主活動グループとして発足しました。会費は無料です。蝶観察会開催日の 1 週間前に観察日、集合場所等をメールでお知らせします。 2019 年 3 月にエコポリスセンターのご支援の下「板橋で見られる蝶ーデジタル観察図鑑」を作成し、エコポリスセンターのサイトに掲載して頂いています。
活動日	年間スケジュールによる観察会の実施 （月 1 回土曜日、予備日日曜日）
活動場所	板橋区内の公園・荒川河川敷・エコポリスセンター
その他・写真	

2025 年「板橋区の蝶を調査する会」の観察実績

3 月	22 日（土）	予備日 23 日（日）	10 時～　荒川笹目橋周辺
4 月	12 日（土）	予備日 13 日（日）	10 時～都立光が丘公園
5 月	17 日（土）	予備日 18 日（日）	9 時半～赤塚城址周辺　アカシジミ等
6 月	7 日（土）	予備日 8 日（日）	9 時半～都立光が丘公園　アカシジミ等
7 月	5 日（土）	予備日 6 日（日）	9 時半～都立城北中央公園
8 月	16 日（土）	予備日 17 日（日）	自由参加　　都立石神井公園
9 月	13 日（土）	予備日 14 日（日）	9 時半～赤塚城址周辺
10 月	4 日（土）	予備日 5 日（日）	9 時半～都立光が丘公園
11 月	1 日（土）	予備日 2 日（日）	10 時～　荒川笹目橋周辺
12 月	6 日（土）	予備日 7 日（日）	10 時半～赤塚公園番場・沖山地区

13 時～ランチ忘年会

環境団体名称	いたばし水(ミズ)と緑(ミドリ)の会(カイ)
代表者(事務局)	坂本(サカモト) 郁子(イクコ)
連絡先	TEL：090-4618-1295 Email：mizumidori@nifty.com
登録人数	29 名
団体URL	http://mizumidori2.eco.coocan.jp
活動内容	赤塚城址にバッタ広場（草原ビオトープ＊）、赤塚ため池公園内にとんぼ池（ビオトープ池＊）をつくり、観察と手入れを行っています（第 2 日曜日、第 4 土曜日）。 また区立日暮台公園で崖線樹林地の観察を続けています（不定期）。 活動報告と身近な自然情報を掲載した会報「みずみどり」を隔月発行しています。 ビオトープとは、生き物が暮らせる場所（卵を産み、エサを食べ、育っていける場所）と考え意図的に草木を残しています。
団体紹介	1997 年設立以来、区内と周辺の残された自然を保全することを目的に活動しています。身近な自然を楽しみ、自然から多くのことを教えてもらいます。 外に出て、身近な生き物達をウォッチングしましょう。そして人間も自然界の一員であることを感じてほしいです。
活動日	第 2 日曜日、第 4 土曜日（いずれも 10 時～11 時半）
活動場所	赤塚ため池公園内トンボ池、赤塚城址内バッタ広場 その他日暮台公園、区内の緑地
その他・写真	会費：年 2,000 円（会報をお送りします）

いたばし水と緑の会　2025年度の活動報告

２０２５年度の会員数は３０名です。

運営について

会長　鈴木信子

世話人：坂本郁子

運営：運営委員会は設置しなかった。世話人が案を作成し、グループラインにより、また現場で相談しながら進めた。グループラインによる情報交換も有効に機能した。

活動について

① バッタ広場とトンボ池の観察と手入れ（月 2 回）
ザリガニ捕獲数２５３４匹

② 日暮台公園の観察（4 月～7 月）改修工事により 8 月から停止

③ 会報「みずみどり」 隔月発行　300 部（残部多）
会報は、生き物についての情報と、会の観察記録と活動記録である

④ エコライフフェア夏（6 月 14 日～6 月 29 日）に出展（エコポリスセンター主催）

⑤ バッタ広場の生き物調べ　7 月 26 日（土）（ボランティアセンター主催）
参加者 20 名（会員含む）

⑥ 未来塾観察会（バッタ広場とトンボ池）（10 月 9 日）

⑦ プラスチックリサイクル工場見学（10 月 24 日）と環境ゼミナール企画 「板橋区のリサイクル事業」（11 月２１日）

⑧ 赤塚公園どんぐりまつり（１０月２５日）　雨天のため中止

⑨ 観察会　｛前野・中台・西台の崖線を歩く｝（11 月 29 日）

⑩ 環境なんでも見本市に出展（2 月 7 日、8 日

課題（下記の事項について議論はまとまっていない）

① コロナによる自粛や温暖化による猛暑の影響もあるが、自然に目を向ける人が少なくなったように思える。自然も失われつつあるのかもしれない。自然がなくなるという危機意識もうすれてきている。そのなかで、生き物が生息できる空間の保全は会の活動テーマである。何をしたいか、どうしたいか

② 会報や展示で何を伝えるか。最近は短いフレーズがよいとされるが・・・

③ 日暮台公園および崖線の観察を会として続けるか

環境団体名称	いちご会（カイ）
代表者（事務局）	伊澤（いざわ）　千衣子（ちえこ）
連絡先	
登録人数	36 名
団体URL	
活動内容 **団体紹介**	いちご会は「誰も取り残さない持続可能な社会の実現」を目指して高齢者のための健康教室を開催しています。一見、環境と関係がないように見えますが、どちらも人間の幸せを実現するために不可欠な要素であり、切り離して考えることができません。環境問題は自然との関係、福祉問題は社会との問題と考えます。 そこで、会では環境問題を身の回りから見直し、自分たちでも取り組めるエコな生活をするよう努めています。例えばフードロスを防ぐ、不要な電気を消す、資源としての水を大切に使う等、会で話し合い実践しているところです。
活動日	毎週火曜日（第 5 火曜日を除く）
活動場所	エコポリスセンター　ウェルネススペース 環境学習室　等
その他・写真	

2025 年度活動報告

毎月

① おとせん体操　10 の筋トレ

② 口腔ケア

③ 脳トレ

④ 健康情報

⑤ エコ情報

2026 年 1 月現在

参加人数の表	1	2	3	4	計
4 月	12	15	17	17	61
5 月	17	15	14		46
6 月	16	15	18	16	65
7 月	14	15	15		44
8 月	夏　休　み				0
9 月	14	13	13		40
10 月	16	17	11	10	54
11 月	15	15	17	16	63
12 月	14	15	17	17	63
1 月	23	24	15	17	79

活動回数：31 回

参加人数：515 人

環境団体名称	イッパンシャダンホウジンミズ　ミドリ　イノチ **一般社団法人水と緑と命のネットワーク**
代表者（事務局）	コウダ　ヒロヨ 幸田　光代
連絡先	
登録人数	8 名
団体URL	
活動内容	私たちの「花咲プロジェクト」というボランティア活動は、開始以来今年で5年目を迎えました。その主な内容は、次の２点です。 （1）この公園の板橋区側表玄関と言える赤塚口にある石のモニュメント周辺に花壇を作り、１年を通して美しい花が絶えないように、種を蒔き、球根を植え、花苗を植えて、育てています。春はクロッカスや各種原種チューリップ、真紅のレッドエンペラーが一斉に咲きだします。花壇の背景の桜とのコラボも楽しみになってきました。　夏の主役は赤、桃、白の約１００本のユリです。年々増えて、背も高くなり、昨夏は最高で2m30cmにまで成長した花もありました。秋は風に揺られて首をふる可憐なコスモスの花。そして冬は数年前から植え始めたプリムラ・ジュリアンの鮮やかな花（黄、赤、桃、白）、...。「花は看るもの」という言葉を手本に、土の中の 種や球根から芽が出て、茎や葉が成長し、花の蕾が膨らみ、見事な花を咲かせて、再び種や球根に翌年のエネルギーを託すという、生命の神秘的なサイクルに日々お付き合いしながら、楽しく管理をさせていただいています。 （2）花壇のすぐ近くにある区立の小学校との協力関係はプロジェクト開始以来続いています。生徒さんたちは授業の一環として花壇に色とりどりの１年草の花を植えて利用していただいています。私たちはそれを手伝い、質問に答え、１年を通してこれらの花苗の育成を見守ります。
団体紹介	私たちは、都立光が丘公園を訪れる多くの市民にとって、四季を通して魅力のある花が咲き乱れるオアシスのような花壇を整備するとともに、周囲の小学校や保育園の子どもたちに、自然とさまざまなかたちでふれ合い、環境や生物について学ぶお手伝いをしていきたいと考えています。
活動日	随時
活動場所	都立光が丘公園赤塚口
その他・写真	 花咲花壇の春の花々 百合

令和7年度の事業報告書

団体名　(一社)水と緑と命のネットワーク

活動目的・内容等	★目的…光が丘公園を訪れる多くの市民にとって憩いの場となる美しい花壇を整備・管理するとともに、子どもたちに自然とふれ合う機会と場所を提供する。 ★内容…私たちの「花咲プロジェクト」は、令和 4 年度にスタートした。光が丘公園の板橋区側入り口に花壇（花咲花壇と命名）を作り、春は各種チューリップ、夏はユリ、秋はコスモス、冬はプリムラジュリアンやクロッカスなどを咲かせて、1 年を通して訪れる市民に楽しんでいただけるよう花壇を整備し、花を育てている。また、周囲の小学校や保育園の子どもたちに、自然と様々な形で触れ合い、環境について学ぶお手伝いをしていけるよう試行錯誤を重ね、努力を続けている。		
1.　活動人数	（一社）水と緑と命のネットワークの会員 6 人が主メンバーで、他に随時協力してくれる市民も。		
2.　詳細	活動内容	参加者数	活動日数
4 ～ 6 月	• 春の花の中心はチューリップ。真紅のレッド・エンペラーに続き、4種の原種リューリップが、珍しい可憐な花を花壇中にあふれさせる。さらにギボウシが薄紫の花を咲かせ、ヘメロカリスやユリも新芽を吹いて、日毎に成長する。グランドカバーのオーレアも、鮮やかな黄緑色の葉を広げ、雑草を抑制しつつ、地面が乾燥しないよう守ってくれる。 • この時期、最も大変なのは水やりだ。特に 6 月は梅雨の時期というのに、真夏の暑さで雨の降らない日が続く。こうなると、早朝の水やりは毎日欠かせなくなる。ホースやジョウロでたっぷりの水を撒きながら、花の成長を見守る。 • 花壇の一部は、赤塚新町小学校の環境学習用のスペースに提供している。6 月 5 日午前、先生に引率されて約 50 人の生徒が到着。夏花のペンタスとマリー・ゴールド各 30 苗を植えた。私たちは、その事前準備をし、一人ひとりの植付けを手伝う。花の原産地についてや、根の果たす重要な役割などを説明した。生徒たちは好奇心いっぱいで次々と質問してくれるのがうれしい。	6 人＋α	50 日
7 ～ 9 月	• 7 月上旬にユリが満開を迎えた。年々、身長が 30cm ほど伸び、今年は最長で 2m30cm 程に！その赤、桃、白の花の鮮やかさ、香りの魅力に、「圧巻ですね！」との評価を、訪れる市民から戴いた。ヘメロカリスも順調に黄橙の花を咲かせ続けてくれる。 • コスモスの種を、例年より早く、7 月中旬に蒔いた。種まきの時期については、酷暑が増す中、試行錯誤の日々が続く。今年の 8 月はかつてないほどの猛暑。早めに種まきして正解だ	6 人＋α	45 日

	った。9 月にはぐんぐんと背を伸ばし、背丈が 1m70cm ほどに。だが、開花は意外に遅く、9 月末になってようやく一部が咲き始めた。もっと摘心をして、背丈を抑えた方が、良かったのかもしれない。来年の課題だ。 • 赤塚新町小の植えたペンタスとマリー・ゴールドは猛暑の中、順調に育った。マリー・ゴールドは背丈が高くなるだけでなく、横方向に茎が伸びて茎が絡み合い、風通しが悪くなって枯れてしまう危険があるので、2週間に 1 度の割で剪定して、茎同士が干渉しないようにする必要がある。今年は、この調整がうまくいき、11 月まで美しい姿を保つことができた。		
10～12 月	• コスモス（赤白桃色のセンセーション）は、10 月下旬になってようようやく満開を迎えた。涼しい微風に揺れる花は、秋の象徴。市民の人気も高く、立ち止まって写真に収める方が多い。コスモス（黄花）は生育があまり良くなかった。花が小ぶりで、しかも花びらが開き切らずに内側にしぼむように曲がってしまう。原因を探り、来年の対策を検討する必要がある。 • 11 月 18 日、赤塚新町小の冬花植え。生徒は前回の夏花植えのときと同じメンバーの約 50 人。冬花は色とりどりのストック、白のノースポール、すみれ各 40 苗。事前に先生と相談し、ここ数年間は同じ種類の花を横並び各1列で植えてきたが、今年は縦並びにしてさらに色別に数列ずつ植えてみた。花壇の周囲から見て、小学生たちがどんな花をどれだけ植えたのかを1目で分かるようにしたわけだ。植えてみると、この方が見栄えも良い。正解だった。なお、例年、寒風に弱いストックについては、周囲に腐葉土を盛った。 • 12 月 9 日、10 日、11 日の 3 日間、ほぼ全メンバーが集まって、花壇の冬支度の作業をした。 ✧ まずはユリの球根を掘り出して、再配置した。ユリの育成は令和 4 年度に、長野県軽井沢町の園芸家・矢澤秀成氏から、オリエンタル系（赤、桃）の苗 15 株、ノバゼンブラ（白）の球根 10 個を分けていただいたことからスタートした。それが年々成長し、株が増え、7 年度の今では 80 株を越すまでになった。球根の本格的な再配置が必要になったわけだ。身長 2m 級のユリともなると、球根は大型カボチャのよう。それを株分けし、鱗片もとって、混雑しないように植え直す。これだけでも 6～7 人がかりで 2 日間かかった。 ✧ チューリップの球根植え。原種チューリップを増やしたいと計画していたが、オランダからの輸入がストップしたということで、レッドエンペラーの球根を当初計画の「40	6 人＋α	45 日

	個」を増やして 100 個購入し、土に埋めた。 ✧ クロッカスの球根を 100 個購入し、前年度から土中で生きている古い球根約 100 個と混ぜて、植えた。目立つよう、クロッカスだけの領域を作り、そこに集中的に植えたので、花が咲く 2 月～3 月が楽しみだ。 ✧ プリムラジュリアン（黄）160 苗、同（桃）60 苗も植えた。予定を 2 時間も超える作業が連日続き、さすがに疲れたが、プリムラジュリアンの美しい花に励まされつつ、何とか達成できた。		
1 ～ 3 月	• 今年の冬は、東京でも最低気温零下という厳しい寒さの日が多い。しかも、ずっと雨の降らない日が続く。こうなると、3 日に 1 度は水やりが必要になる。それ以外の日も、散歩で花壇を覗いては、花と対話し、土を見て、手で触って、乾燥具合をさぐる。まるで医者のよう。 • 1 月 2 日夜、数時間にわたる積雪。その後風も吹き、厳しい寒さに。花咲花壇は 2 日後まで雪に埋もれた。これで寒さに強いはずのプリムラジュリアン（特に桃色）も火傷のような症状に。すみれも花が下を向いてしまった。雪が完全になくなった 1 月 7 日、いざという時のために用意しておいた腐葉土（20 リットル）9 袋と培養土を花壇に運び、プリムラジュリアンや、小学生たちの植えたストック、ノースポール、すみれの周囲を囲むようにまいた。 • 「花は看るもの」とは、私たちの師匠から教わった言葉だが、本当にそんな感じの 1 年でした！	6 人＋α	35 日

3. 工夫・反省点	• 花壇の周囲を幅約 1m にわたって、竜の髭で囲っている。1 年中、緑を保っており、その内側に咲く花々の美しさを際立たせてくれる貴重な存在なのだが、ところどころ弱って、地面の土がのぞいたりするようになった。専門家に聞いてみると、どうやら主要な原因の一つに、人間が踏み込んで、その圧力で根が傷んでしまうことがある、とのことだった。考えられるのは、主として、私たちが毎日のように花壇に上がり面倒を見る際などに、知らず知らずに踏んでしまうということだ。それで、来年度はこの竜の髭の領域の一部にレンガを並べた通路をいくつか作り、竜の髭を踏まないですむようにしたらいいのではないか、という意見がメンバーから出された。来年度の事業企画の一つとして、計画中。

環境団体名称	ウェルビーイング倶楽部（クラブ）
代表者（事務局）	片山（カタヤマ） 信賢（ノブカタ）
連絡先	
登録人数	5名
団体URL	https://wellbeing-club.jimdosite.com/
活動内容	1. 子ども向けの環境・エネルギー教育（例：太陽光発電ワークショップ） 2. 自己理解・他者理解を促進するワークショップの企画・実施 3. 防災や地域づくりに関する学習会・意見交換会の開催 4. 多文化共生や心理的安全性を育む地域イベントの企画・運営 5. 会員の専門性や経験を活かした情報交換、学び合いの場づくりなど
団体紹介	心と体が健康であり、他者やコミュニティとも良い状態を目指し、納得感を持って日常生活を送れるように、社会的、経済的、環境的に満足いくため、一人一人の強みを活かし繋がりをつくる活動をしております。
活動日	不定期
活動場所	エコポリスセンター・都内各所
その他・写真	

活動報告書 2025 年度

ウェルビーイング倶楽部 代表：片山 信賢

---

1. 団体概要

団体名： ウェルビーイング倶楽部
活動拠点： オンライン及び各種会場
活動理念：
心と体の健康を大切にし、他者やコミュニティとの良好な関係・つながりをつくることで、豊かな日常生活と満足感ある人生を目指す。
日常の学び・支援・居場所づくりを通じて、一人ひとりの強みを活かし合うコミュニティ活動を推進している。

---

2. 2025 年度の活動報告

ウェルビーイング倶楽部では、2025 年度を通じて多様なワークショップ、学びの場づくり、体験型イベントなどの活動を実施しました。主にオンラインとリアル会場（板橋区内他）を活用し、幅広い参加者の健康・学び・つながりの機会を促進しました。

2-1. 1 月

- **フロー実践と組織力向上**（私立大学学術会議）
  組織マネジメント・自己効力感向上を目的とした講座。

2-2. 2 月

- **革紐レザーワークショップ**（板橋区立グリーンホール）
  ものづくり体験を通じて創造性を育む。

2-3. 3 月

- **セキュリティ対策と AI 活用法セミナー**（オンライン）
  デジタルリテラシー向上の機会を提供。
- **絵本（お金はありがとうの形）公開**（yomo）
  子ども向けの価値観を育む読本発表。

2-4. 4 月

- **一品持ち寄り聴き合いの会**（稲荷湯長屋）
  地域交流と対話の場づくり。
- **YouTube 出演（キャリコンリレートーク）**
  キャリア形成の視点を発信。
- **となりのタイワン／私設図書室**
  多文化理解を深める対話プログラム。

2-5. 5 月

- **ウェルビーイング型チャットボット公開**
  セルフケア支援ツールとして性能公開。
- **良い会社の見つけ方授業**（私立大学）
  キャリア意識向上セミナー。
- **多文化読書会（子どもの頃の物語）**（私設図書室）
  文化理解・対話の深化。

2-6. 6 月

- **読書会（働くとは）**（オンライン）
  働く意味を考える場。
- **Harvard University "The Good Work Project Lesson Plans"**（私立大学）
  海外教育プログラムの紹介と学び。

2-7. 7 月

- **積みプラ解放区（某所）**
  趣味活動を通じたコミュニティ形成。

- **ジョブエクスプローラーズ授業**（都立高校）
  職業理解支援講座。
- **防災スタディ**（オンライン）
  社会的リテラシー向上。

2-8. 8 月

- **コミつな研実践者発表**（オンライン）
  学習成果の共有と実践報告。
- **ウェルビーイングカードワークショップ**（私設図書室）
  価値観・自己理解を深める実践型研修。

2-9. 9 月

- **E スポーツ（iRacing）体験**（オンライン）
  デジタル×ウェルビーイングの体験活動。
- **本棚オーナーインタビュー（note）**
  読書文化と自己表現促進。
- **やりたいこと仲間と一緒に見つけよう／ピアコーチング**
  仲間支援型自己発見プログラム。

2-10. 10 月

- **研究を加速させる NotebookLM 活用法**（私立大学）
  研究支援ツールの紹介。
- **就勝スタートセミナー**（都内専門学校）
  就職支援セミナー。
- **自己理解入門対話授業**（私立大学）
  対話を通じた自己理解促進。
- **業界職種理解セミナー**（しごとサポートセンター）
  職業理解支援。
- **大人の社会科見学（都内リサイクルセンター）**
  環境・資源理解の学習場。

2-11. 11 月

- **最初の一歩の背中を押す HERO 論**（三鷹市協働センター）
  自己変容支援講座。

2-12. 12 月（予定含む）

- **大人の社会科見学（模型の世界首都・静岡）**
  学びと交流の実地見学。
- **ASOBU×MANABU フェスタ（エコポリスセンター）**
  環境×学びの祭典にボランティア参加。（提出先の施設での活動）

---

3. 活動の特徴と成果

3-1. 多様な参加機会の提供

オンライン・リアル双方で学びや交流の場を提供し、参加者の幅を広げました。

3-2. 地域と連携した活動

板橋区立グリーンホールやエコポリスセンターでの開催を通じて地域貢献活動を推進しました。

3-3. ウェルビーイングの実践支援

価値観カードワークショップや防災スタディなど、日常の健康・学び・つながり促進を目的とした実践的プログラムを展開しました。

---

4. まとめ

2025 年度は、多様なテーマと形式で活動を展開し、参加者の心身の豊かさと学びの深化を目指した一年となりました。
引き続き、地域・参加者と共にウェルビーイングを育む活動を推進していきます。

環境団体名称	エコ紙漉(カミス)きはがき絵(エ)の会(カイ)
代表者(事務局)	鈴木(スズキ)　伸子(ノブコ)
連絡先	TEL：03-3933-2760
登録人数	8 名
団体URL	
活動内容	・乳飲料パック(牛乳パック) 等からハガキを作る ・手作りハガキに水彩、貼り絵、切り絵、新聞のカラー広告等でのちぎり絵で作品にする ・牛乳パックを友禅和紙、布等の芯にして工作し、カードケース、箱等の作品にする
団体紹介	紙漉き体験を通して、資源の大切さを子ども達に伝えたい。乳飲料紙パックからパルプを作り、紙漉きを体験し、出来上ったハガキに工作をする。
活動日	第 3 火曜日 (10～15 時)
活動場所	エコポリスセンター 地下 1 階 環境工作室
その他・写真	

2025 年度活動報告

活動場所：環境工作室　　令和 7 年 3 月 18 日～令和 8 年 2 月

令和 7　3 月 18 日（火）　例会　10：00～3：30　4 名
午前：紙漉き　午後：春の花を描く（ポピー、ドクダミ、チューリップ）

3 月 31 日（火）　ショーケースかたづけ、部屋予約

4 月 15 日（火）　例会　10：00～3：30　5 名　しおり作り、夏休み工作教室のはがきの見本作り

5 月 20 日（火）　例会　10：00～3：30　6 名　午前：紙漉き　午後：夏休み工作教室準備

6 月 17 日（火）　例会　10：00～3：30　6 名　午前：水彩　午後：新聞紙のちぎり絵

7 月 15 日（火）　例会　10：00～3：30　6 名　体験 1 名
午前：紙漉き、工作教室の用意　午後：工作教室の打ち合せ

7 月 26 日（火）　夏休み工作エコスクール講師として参加　2 時～3 時 30 分　6 名
おみやげはがき 1、ミニ小箱 2 個、しおり 1 配布　10:00～15:00　5 名

9 月 9 日（火）　例会　午前：紙漉き（流し込み）　午後：はがき絵　秋の花

10 月 14 日（火）　例会　10：00～15：30　5 名　あそぶ＆まなぶ～の用意　火の花を描く

11 月 18 日（火）　例会　10：00～15：30　午前：紙漉き　午後：年賀状 午どしの貼絵

12 月 14 日（日）　地下広場　あそぶ＆まなぶ～　10：00～15：00　しおり作り参加　6 名

令和 8　1 月 20 日（火）　例会　10：00～15：00　午前：紙漉き　午後：見本市の準備
展示の下準備

2 月 7 日（土）　工作室　9：30～16：00　6 名　紙漉きの体験の準備・作品の展示
午後：体験、ビニールはがし、紙漉き

2 月 8 日（日）　工作室　9：30～16：00　5 名　午前：体験、紙漉き、おみやげの配布
午後：体験、紙漉きとあと片づけ

環境団体名称	**エコポリス板橋環境行動委員会前野町四丁目支部**（いたばしかんきょうこうどういいんかいまえのちょうよんちょうめしぶ）
代表者（事務局）	山田（ヤマダ）　宣直（ヨシナオ）
連絡先	TEL：03-3960-2208 Email：y4470.nice.shot@jcom.home.ne.jp
登録人数	342 世帯（役員 49 名）
団体URL	
活動内容	1.エコポリス板橋環境行動会議のもと、環境への負荷を低減するために春秋の板橋クリーン作戦、ポイ捨て防止キャンペーン等を行い、地区内の清掃、地区の美化運動を積極的に推進している。 2.清潔で快適な街を造るため、ごみ取集場所の管理や資源ごみ分別回収し、ごみの減量に積極的に対応し、年 51～56 ㌧の実績がある。 3.緑のカーテン育成講習会、ガーデニング講習会、桜祭り、環境講演会、合同施設見学会などに参加し、暮らしやすい環境の達成を目指している。
団体紹介	板橋環境行動委員会前野支部に属し、板橋クリーン作戦、ポイ捨て防止キャンペーン、ガーデニング講習会に参加している。
活動日	常に活動状況を保っている
活動場所	前野町全域（主に前野町四丁目区域）
その他・写真	

2025 年 度　活　動　報　告

予定月日	事　業　名	人数	主　催	場　所
4月01日（火）	防犯支部長会議	1	警察	志村警察署
4月04日（金）	町連支部長会	1	町連	区 役 所
4月05日（土）	新入学児童に祝い品贈呈　男2名、女2名	4	町	該当者宅
4月07日（月）	前野小・北前野小入学式	1	区	前野小学校
	環境行動委員会役員会	1	支	ｴｺﾎﾟﾘｽｾﾝﾀｰ
4月09日（水）	会 計 監 査	7	町	町会長宅
4月10日（木）	婦人部打合せ	7	町	飲 食 店
4月11日（金）	町 会 長 会 議	1	支	ｴｺﾎﾟﾘｽｾﾝﾀｰ
4月20日（日）	第66回総会　出席票48名、委任状145名	193	町	ｴｺﾎﾟﾘｽｾﾝﾀｰ
4月22日（火）	区政事務事業説明会	2	区	文化会館
4月25日（金）	観光協会役員会	欠席	区	区 役 所
4月27日（日）	清水ファミリーデー	1	町連	志村第三小学校
5月02日（金）	町連支部長会	1	町連	区 役 所
5月07日（水）	町 会 長 会 議	1	支	ｴｺﾎﾟﾘｽｾﾝﾀｰ
5月11日（日）	青 健 総 会	8	青	前野ホール
	環境行動委員会総会		環	
	前野支部総会		支	
5月13日（火）	町連常任理事会	1	町連	区 役 所
5月14日（水）	緑のカーテン講習会	18	環	ｴｺﾎﾟﾘｽｾﾝﾀｰ
5月17日（土）	第1回町会理事会	25	町	ｴｺﾎﾟﾘｽｾﾝﾀｰ
5月18日（日）	ガーデニング講習会	47	支･環	ｴｺﾎﾟﾘｽｾﾝﾀｰ
5月24日（土）～5月27日（火）	春の防犯防火パトロール	44	町	(本部)常楽院門前
5月27日（火）	合同水防訓練	欠席	区	旧板橋九小
	志村防犯協会支部長会	1	警察	トミコシ会館
5月28日（水）	観光協会総会	欠席	区	成増ｱｸﾄﾎｰﾙ
5月29日（木）	町連定期総会	1	町連	区 役 所
6月01日（日）	春の板橋クリーン作戦	48	環･支	町会地区内
6月03日（火）	町連支部長会	1	町連	区 役 所
6月05日（木）	町 会 長 会 議	1	支	ｴｺﾎﾟﾘｽｾﾝﾀｰ
6月08日（日）	ドッジボール大会	5	青･支	小豆沢体育館
6月11日（水）	志村防火防災協会総会	1	消防	トミコシ会館
6月15日（日）	第2回町会理事会	31	町	ｴｺﾎﾟﾘｽｾﾝﾀｰ
6月20日（金）	スタンプラリー実行委員会	3	町	ｴｺﾎﾟﾘｽｾﾝﾀｰ
6月21日（土）～6月22日（日）	少年野球地区大会	1	区･支･青	城北野球場
6月22日（日）	西熊野神社氏子会総会	3	西熊野御神社	西熊野神社
6月24日（火）	マイキャンプ実行委員会	3	青	ｴｺﾎﾟﾘｽｾﾝﾀｰ
6月26日（木）	社会福祉協議会定時評議員会	欠席	社協	グリーンホール
7月04日（金）	町連支部長会	1	町連	区 役 所
	住宅防火防災対策推進会議	1	消防	
7月05日（土）	盆踊り講習会（三丁目主催）	1	町	前野ホール
7月07日（月）	町 会 長 会 議	1	支	ｴｺﾎﾟﾘｽｾﾝﾀｰ
7月09日（水）	マイキャンプ実行委員会	3	青	ｴｺﾎﾟﾘｽｾﾝﾀｰ
7月11日（金）	防災ワークショップ	2	区	前野ホール
7月12日（土）	マイキャンプ説明会	3	青	前野ホール
7月13日（日）	第3回町会理事会	33	町	ｴｺﾎﾟﾘｽｾﾝﾀｰ
7月19日（土）	常楽院倉庫内棚卸	7	町	常 楽 院
	前野町三丁目町会納涼大会	1	町	宮下公園
7月20日（日）～7月26日（土）	ラジオ体操　大人195名、子供242名	437	町	常楽院門前
7月26日（金）～7月28日（日）	マイキャンプ(八ヶ岳)小学4～6年	90	青	榛名林間学園

8月02日（土）	いたばし花火大会警備	2	区	荒川河川敷
8月03日（日）	第4回町会理事会	36	町	ｴｺﾎﾟﾘｽｾﾝﾀｰ
8月19日（火）	防災ワークショップ	2	区	前野ホール
8月20日（水）	地域交流アプリ「結ネット」説明会	3	区	区 役 所
8月23日（土） ～8月24日（日）	親子納涼大会 子供券無料87枚･有料308枚	多数	町	常楽院門前
8月31日（日）	例大祭打合せ	3	氏子会	西熊野神社
9月02日（火）	町連支部長会	欠席	町連	区 役 所
	スタンプラリー実行委員会	2	支･青	ｴｺﾎﾟﾘｽｾﾝﾀｰ
9月04日（木）	町 会 長 会 議	1	支	ｴｺﾎﾟﾘｽｾﾝﾀｰ
9月05日（金）	交通安全都民のつどい	欠席	区	文化会館
	町会婦人部打合せ	17	町	前野地域ｾﾝﾀｰ
9月07日（日）	例大祭準備（神輿･山車飾付）	5	氏子会	西熊野神社
	四丁目北町会見次公園ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ	1	町	見 次 公 園
	第5回町会理事会	29	町	ｴｺﾎﾟﾘｽｾﾝﾀｰ
9月10日（水）	国勢調査説明会	7	区	前野ホール
9月13日（土） ～9月14日（日）	西熊野神社例大祭	21	氏子会	四･五･六丁目町内
9月15日（祝）	敬老の祝い品贈呈 男0名、女1名	1	町	該当者宅
9月18日（木）	青少年健全育成講習会	5	支･青	前野ホール
9月30日（火）	スタンプラリー全体役員会	6	支･青	ｴｺﾎﾟﾘｽｾﾝﾀｰ
10月01日（水）	板橋区犯罪防止生活安全のつどい	2	区･警察	文化会館
10月02日（木）	町連支部長会	1	町連	区 役 所
10月04日（土）	ふれあい広場健康まつり	中止	ﾀﾆﾀ･支	タニタ本社
10月07日（火）	志村防犯協会支部長会	1	警察	志村警察署
	町 会 長 会 議	1	支	ｴｺﾎﾟﾘｽｾﾝﾀｰ
10月08日（水）	志村防火防災協会役員会	1	消防	志村消防署
10月11日（土）	第6回町会理事会	25	町	ｴｺﾎﾟﾘｽｾﾝﾀｰ
10月12日（日）	前野スタンプラリー	9	支･青	前野公園発着
10月13日（月）	防災ワークショップ	1	区	前野ホール
10月18日（土）	区民おどりパレード	3	区	ｸﾞﾘｰﾝﾎｰﾙ前通り
10月22日（水）	スタンプラリー反省会	4	支･青	ｴｺﾎﾟﾘｽｾﾝﾀｰ
10月26日（日）	親睦バス旅行	24	町	航空博物館･ゆめ牧場
10月30日（木）	国勢調査説明会	7	区	前野ホール
10月31日（金）	区民おどり反省会	3	区	ｴｺﾎﾟﾘｽｾﾝﾀｰ
11月02日（日）	秋の板橋クリーン作戦	43	環･支	町会地区内
11月04日（火）	町連支部長会	1	町連	区 役 所
11月06日（木）	町 会 長 会 議	1	支	ｴｺﾎﾟﾘｽｾﾝﾀｰ
11月09日（日）	第7回町会理事会	26	町	前野地域ｾﾝﾀｰ
11月10日（月）	板橋平和のつどい	欠席	区	板橋文化会館
11月15日（土）	合同施設見学会	4	支･青･環	そなエリア･三菱技術館
11月16日（日）	前野町六丁目町会創立60周年式典	1	支部	前野ホール
11月18日（火）	いたばし社会福祉大会	欠席	福祉	板橋文化会館
11月20日（木）	環境行動委員会講演会･役員会	6	環	ｴｺﾎﾟﾘｽｾﾝﾀｰ
11月22日（土）	少年野球ﾘｰｸﾞ戦創立50周年祝賀会	3	野球連盟	前野ホール
12月01日（月）	地域交流アプリ「結ネット」説明会	3	区	区 役 所
12月02日（火）	町連支部長会	1	町連	区 役 所
12月05日（金）	町 会 長 会 議	1	支	ｴｺﾎﾟﾘｽｾﾝﾀｰ
	支部･青健合同忘年会	3	支･青	丸 好
12月07日（日）	第8回町会理事会	28	町	前野地域ｾﾝﾀｰ

区：板橋区役所、支：町連前野支部、青：青少年健全育成委員会、環：環境行動委員会、町：四丁目町会

環境団体名称	NPO法人（ホウジン）　いた・エコ・ネット
代表者（事務局）	横山（ヨコヤマ）　れい子（コ）
連絡先	TEL：090-7223-4689 Email：r-yokoyama@jcom.home.ne.jp
登録人数	16 名
団体URL	
活動内容	1. 自然や文化などの保全や復元に関する事業 2. 環境保全型のまちづくりに関する事業 3. 高齢者が暮らしやすい環境をつくる事業 4. 持続できる社会を目指した環境教育（学習）等に関する事業 5. その他目的を達成するために必要な事業
団体紹介	再生可能エネルギー利用普及、省資源省エネルギーや地産地消及び保全。地区内の自然まちづくりに関する認識を深める。自然環境の保全、人と自然の調和のとれた循環型まちづくりを広げていく活動。 【活動単位】 Ａ：いたばしオーガニックコットン育成・普及活動 Ｂ：福島被災地復興支援活動 Ｃ：自然エネルギー利用普及・啓発活動 Ｄ：環境学習活動 Ｅ：５Ｒ推進活動
活動日	随時
活動場所	随所
その他・写真	

２０２５年度の活動

1，自然や文化の保全や復元に関する事業

「いたばしオーガニックコットン栽培普及活動」

赤塚公園の落ち葉で作った腐葉土を昨年に続き、5月の苗植え前に堆肥として畑に使う。

・赤塚公園中央地区のウエルカムガーデンでのオーガニックコットン栽培

5月　種ポット植え、　畑に腐葉土入れ、マルチ張り、苗移植、水やり手入れ
　　保育園児年長組（6歳）20人と苗の移植
6月　水やり、手入れ、支柱建て
7月　水やり、手入れ、支柱建て、摘芯
8月　手入れ、摘芯、収穫
9月　手入れ、収穫
10月　手入れ、収穫
11月　手入れ、収穫、一斉収穫　　保育園年長組２０人と収穫
12月　保育園年長組２０人でワークショップ　マグネットとストラップづくり
１月　畑じまい　　腐葉土づくり３年目
　　赤塚第3中学校職場体験　1年生3人受け入れ　　腐葉土づくり

・「赤塚公園どんぐり祭り」

赤塚公園でとれたコットンでストラップとマグネットをつくる
１０月２５日（土）予備日２６日（日）　両日とも雨で中止

・「50代60代のための地域活動入門講座」体験受け入れ

コットンの収穫体験　　１０月３１日　３人　　加入１人

・「赤塚公園友の会活動」　　隔月で開催されるとの会議に出席

2，環境保全型のまちづくりに関する事業

区民まつりの生ごみ回収作業を「暮らしと観光課」からの依頼を受け行う。

・区民まつりの生ごみ回収

１０月１８日・１９日（土・日）　　１８日６人　　１９日６人　　延べ１２人
２０日（月）９時半　要工業引渡し
２日間で４０キロの生ごみを回収　　昨年より７キロ減
区民まつりパンフレットに生ごみ回収の取り組みが掲載された。

・エコポリスセンター主催のプラッスチック処理工場見学会に参加　　３人

3，持続できる社会を目指した環境教育等に関する事業

・「夏休みエコスクール」

「へんこうフイルムとセロハンテープでステンドグラスをつくろう！」　　５人

８月２日（日）　１０時～１１時３０分　　エコポリスセンター　　参加児童１８名

・エコライフフェア夏

６月２９日（日）１３時半～１５時　展示なし　　ワークショップ　　６人

コットンでマグネットとストラップを作る　　５０組

・「環境なんでも見本市」会場展示

２月６日～２月７日（土・日）

６日（土）１２時～１６時　　７日（日）１０時～１６時　　延べ１２人

ワークショップ　　リースづくりはとても好評

コットンを使ってマグネットやストラップをつくる　　２日間合わせて　１５０組

コットンの額を使ったリースをつくる　６日午前中　　人数限定で１５人

4，法人管理部門事業

・理事会の開催　適宜開催　　５回

・「赤塚コットン」のグループラインを作り、連絡・情報交換ができるようにした。

環境団体名称	NPO法人（ホウジン） SDGs いたばしネットワーク
代表者（事務局）	下島（シモジマ） 幸泰（ユキヤス）
連絡先	TEL：03-5944-1366 Email：sdgsitabashijimukyoku@outlook.jp
登録人数	36 名
団体URL	https://sdgsitabashi.org
活動内容	・SDGs をテーマにした学習会の実施 ・地球温暖化や食糧危機、プラスチック問題の検討 ・世代を超えた語り合いと実践の共有 ・区内各地で環境学習を含めた SDGs の課題の掘り下げ ・だれも置き去りにしない共生社会の実現に向けた課題解決の活動 ・協働推進センターによる個々の課題への協働と連携
団体紹介	SDGs に示された 17 目標 169 ターゲットについて、板橋区内で「だれも置き去りにしない共生社会の実現」をテーマに学習会や活動団体の支援を行っています。地球温暖化や食糧危機、プラスチック問題を取り上げて、一般市民が世代を超えて語り合って学び、実践を共有し合って、持続的にかかわりを広げていこうとする取り組みを始めています。年間 3 回を目標に区内の各地で環境学習を含めた SDGs の課題に取り組んでいきます。 板橋区内を６つのブロックに分けて、地域ごとの課題解決に向けた学習や SDG s の普及啓発に取り組んでいます。
活動日	毎月第２水曜日を原則とした月例会　ほか各所で随時
活動場所	エコポリスセンター・常盤台地域センター・水久保公園集会所・みんなのたすけあいセンターいたばし・みんなのセンターおむすび　他区内各所
その他・写真	

2025年度　ＮＰＯ法人ＳＤＧｓいたばしネットワーク　活動報告

４月１日　下島幸泰

◎地域センターごとの学び合いのしかけ

区内１８地域センターごとに、地域住民を対象として、「誰も取り残さない共生社会の実現」をテーマにした学び合いの場を設ける。

令和７年度は４地区において３回シリーズの学び合いの場を設けて、住民の課題意識を探り、学びの広がりや深まりを検証した。

検証後、例8〜9年度に区内他地域１４地区でも同様に講座を開設し、地域ごとに特色ある学び合いを展開していく。

◎３回シリーズの学び合い

第１回　「地域の特徴、どんな活動や資源があるかを学び合い、課題を確認する」

第２回　「学び合いと地域作りについて、どんな活動や交流が地域に必要かを考える」

第３回　「楽しく課題解決を進める地域サポートチームを作り、活動計画を考える」

◎実施地域の講座計画

「清水地域センターエリア」

第１回	７月　５日（土）	９：３０〜１２：００	清水地域センター
第２回	７月１５日（火）	１８：３０〜２１：００	〃
第３回	７月１９日（土）	９：３０〜１２：００	〃

「高島平地域センターエリア」

第１回	７月１２日（土）	９：３０〜１２：００	高島平地域センター
第２回	７月２０日（日）	〃	〃
第３回	７月２６日（土）	〃	〃

「下赤塚地域センターエリア」

第１回	７月　６日（日）	１８：３０〜２１：００	下赤塚駅前集会所
第２回	７月１７日（木）	１８：３０〜２１：００	〃
第３回	７月２１日（月）	１３：３０〜１６：００	〃

「常盤台地域センターエリア」

第１回	２月１５日（日）	１３：３０〜１６：００	常盤台地域センター
第２回	２月２８日（土）	〃	〃
第３回	４月１１日（土）	〃	〃

◎主なテーマ

・地域ご近所の助け合いをすすめよう

・災害への対策を共有しよう

・障害者、高齢者、子育て、外国人　様々な人の課題を知ろう

・ごみ拾いや植栽、課題の整備等、環境整備を通してまちづくりを進めよう

ほか　日頃から住民が感じていることの確認・共有、解決に向けた仲間づくりと実践。

環境団体名称	NPO法人（ホウジン） センスオブアース・市民（シミン）による自然共生（シゼンキョウセイ）パンゲア
代表者（事務局）	寺田（テラダ）　茂（シゲル）
連絡先	TEL：03-3960-6052 Email：info@npo-soe.jp
登録人数	40名
団体URL	http://npo-soe.jp/
活動内容	センスオブアースは、未来を担う子どもたちへの環境学習を中心にすえ、2歳児までの親子から、小・中・高・大学・社会人、すべての方々を対象に、楽しい学習を進めている。活動している人に、学生や若い人が多いのも特色である。 プログラムづくりは、学生たちも参加して、創作童話や紙芝居もすでに14本作り、手作りのプログラムを提供している。例えば、「いもむしのたからぶくろ」は創作童話の紙芝居を見た後、たからさがしカードを手に、目をキラキラさせて、鳥や風の声を聞いたり、生きものを見つけたりして、シールを貼り、あっという間に自然に接近していく。どんな子どももほぼ例外なく集中して取り組んでくれる。その結果、生きものなど苦手だった子も身近な自然に親しみを感じていくのがわかる。 また、循環型社会をめざす、食育として、春、大豆を育てようから、冬、みそ・豆腐作りへプログラムが続く。生活の中のものづくりとして、春、綿を育てようから、秋、糸をつむごうや、布を織ろう、幼児には綿人形作りなどへ続く。 エネルギー学習として　、3つのなかよしシリーズ～風となかよし・水となかよし・お日様となかよしは人気が高い。風と、水はそれぞれ、発展プログラムとして、どちらも発電実験が大成功して、感動を呼ぶ。総合的なプログラムとして、「50年後も住み続けたい私のまちを考えよう」は、卒業期の児童や生徒に未来へ向け、夢を持ち、希望へ向かって生きる力を育てる総合的なプログラムを提供している。 最新のプログラムとして「食品ロスを減らそう」「プラスチックごみを減らそう」「アゲハチョウを育てよう」「環境キャリアを考えよう」　など、続々と新規プログラム開発を行っている団体である。毎月、ニュースを3,500部発行し、毎月ワークショップを行い、学生たちと学びつつ、開発を重ねている。出張授業を基本とし、児童館・保幼、小中、大人、放課後のあいキッズなど、子どもがいるところへ楽しいプログラムをもって、いっしょに環境を感じ取りながら、地球への道案内人を果たしていく団体である。
団体紹介	NPO法人センスオブアースの4つの特徴 ひとつ　いつも子どもが身近な自然となかよくできる楽しいプログラムを作っています。 ふたつ　このプログラムを使って、年間1,500人～3,000人の子どもたちや大人の人と、楽しい環境遊びを行っています。 みっつ　この活動の様子を毎月ニュースに載せ、板橋区内公私立保育園・小学校の先生方、区役所、新聞社、個人の方々へお届けしている。 よっつ　毎月第4日曜日に若者とともにワークショップを開催。4月から3月まで、計9回程度 内容 ・環境学習の体験 ・環境学習プログラムの教材づくり～例としてプログラムに合った紙芝居づくりなど ・関心のあるテーマについての研修・調査をまとめる ・区民に向けて、エコポリゼミナールで講演会実施。レポート発表も行う。
活動日	出前授業　随時、毎月第二日曜・第四日曜・第三土曜日
活動場所	エコポリスセンター・各学校・保育園・幼稚園・地域センター等
その他・写真	

2025 年度活動実績

当団体の公式ホームページをご覧ください。

HP はこちら

環境団体名称	NPO法人（ホウジン） 水未来人（ミズミクニン）
代表者（事務局）	矢作（ヤハギ） 裕子（ユウコ）
連絡先	TEL：090-8949-3718 Email：mizumikunin@gmail.com
登録人数	5名
団体URL	http://mizumikunin.blog.fc2.com/
活動内容	【海辺のクラフトワークショップ】： 海辺で拾った宝もの（貝がら、シーグラス、流木、海藻）を使った作品つくり。 例：海藻おしばアート、シーグラスのランプ、フォートフレーム制作など。
団体紹介	・海辺の環境教育やシュノーケリング・磯遊びなどの自然体験活動を通じて、主に子どもたちに自然の大切さや危険回避などの安全教育、障がい者の海辺やプールでの活動支援を行っています。 ・海から遠く離れた街で日々暮らす人々に海を身近に感じ、親しみを持つことで自然環境への保全意識を高めていく活動にも力を入れています。
活動日	随時
活動場所	エコポリスセンター・出張授業先等
その他・写真	

令和 7 年度 活動実績

海での活動

・海の子教室 ： 海洋公園にて開催。

8/2（土）3（日）8（土） 計 11 名

・漂着海藻定点観測会（海辺のおさんぽ会）

2025 年 4/27（日）5/24（土）6/28（土）12/6（土）12/7（日）
2026 年 1/24（土）2/20（金）3/20（金）

計 8 回 25 名

街での活動

① 板橋区立エコポリスセンターでの環境啓発活動。

＊「エコライフフェア夏」: 6/14（土）-29（日）

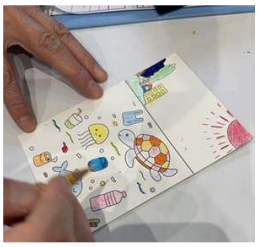
出展タイトル:身近な海藻から考える地球のこと
（海の森の大切さの説明パネルや海藻おしば、アートを展示）
ワークショップ:6/29（日）午前・午後
タイトル:段ボールと海藻でつくるキーホルダー（参加者 71 名）

＊ 7月、月間展示。(7/1～7/31)

1 階ロビー、ショーケースにて海辺のクラフトや海藻おしば、海の様子の模型などを展示。

＊ 子ども向け講座「夏休みエコスクール」

7/28(月)海藻万華鏡 参加者 16 名



＊「環境なんでも見本市」 2026.2/7(土)・8(日)

出展タイトル:街から聴こう!海の声
海洋のプラスチックゴミ問題を考える展示内容
ワークショップ:海ゴミぬりえ（参加者:111 名）

② 板橋区地域エコロジー講座

7/29（火）海藻万華鏡 北前野小 29 名
7/31（木）海藻万華鏡 緑小 30 名
8/26（火）海藻万華鏡 加賀小 30 名
8/27（水）海辺の芳香剤 上板橋第4小 30 名
7/29（火）海藻万華鏡 北前野小 33 名
11/26（水）海藻万華鏡 高島第5小 30 名
2026.2/1（日）海藻万華鏡 東板橋図書館 20 名

③ 民間学童、秀優キッズ（埼玉県朝霞市）にて海のお話と工作のワークショップ

時間:10:00-14:00
4/4（月）『海藻おしば教室』 参加者 11 名
7/30（水）『ところてん作りと海藻キーホルダー』 参加者 19 名
12/26（金）『海藻おしばとチリメンモンスター』参加者 5 名

④ 赤塚ジモパにて海辺の工作ワークショップ（写真 7）

地元密着型イベントにて、海藻万華鏡＆海藻リースを作るワークショップ
10/19（日）11:00-15:00 参加者 14 名

⑤ 海藻おしば＆万華鏡講座（委託事業）

7/25(金) さいたま市大成公民館「海藻おしば講座」 参加者 21 名
8/6(水) 放課後等ディサービス伊豆高原 BASE 海藻おしば教室 参加者 11 名
2026 年
1/18（日）小田原市中央図書館 海藻万華鏡講座 参加者 29 名
1/31（土）北区親子講座 海藻万華鏡 参加者 14 名
◎ その他、伊東市での作品展や海藻おしば協会主催の講座協力など。

環境団体名称	おもちゃの病院板橋（ビョウインイタバシ）
代表者（事務局）	代表：粂谷（クメヤ）　誠（マコト）　事務局：阿部（アベ）　曉（サトル）
連絡先	TEL：090-1807-8365 Email：gyou-abe@msi.biglobe.ne.jp
登録人数	8名
団体URL	https://www.toyhospital.org/
活動内容	1.エコポリスセンター内で「おもちゃの病院」を運営する。 2.エコポリスセンターから要請されるイベントへ参加をする。 3.地域における親子の会話からおもちゃの病院普及活動をする。 4.会員相互の親睦に関すること。
団体紹介	環境活動の一環でもあります再資源 5R活動のRepair（修理して使う）・Reuse（再利用する）・Recycle（再び資源として利用する）は循環型社会の基本理念であり、私たちは理念をバックボーンに日々切磋琢磨して技術向上・人としての心を磨くよう努力しています。 また、親子の会話を通じて物を大切にする心や意識が育まれるよう、地域の方々と共に子どもの心の育成に挑んでいます。
活動日	毎月　第二土曜日
活動場所	エコポリスセンター内
その他・写真	1.音・光・動きを通した安価な電子機器工作キットの組み立て講習会（環境に関したＬＥＤ・パネル等）。 2.簡単なおもちゃの修理の講習会 3.エコな工作講習会。 4.使わなくなったパソコンを再生して使いましょう。

月別来院者数

おもちゃの病院板橋

年度	1月	2月					3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		ｲﾍﾞﾝﾄ1	ｲﾍﾞﾝﾄ2	ｲﾍﾞﾝﾄ計	定例	合計											
2012		13	10	23	休院	23	3	12	4	18	9	4	13	10	14	18	128
2013	17	39	35	74	38	112	14	11	19	19	27	9	27	21	21	18	315
2014	16	9	21	30	3	33	18	23	17	25	22	11	21	34	12	38	270
2015	25	不参加			31	31	23	20	18	26	29	8	28	10	59	55	332
2016	35	14	16	30	37	67	15	15	28	25	33	21	41	40	46	38	404
2017	30	31	36	67	27	94	44	36	19	35	25	23	29	29	31	20	415
2018	26	37	23	60	36	96	33	38	28	29	29	19	24	36	27	38	423
2019	21	40	47	87	18	105	51	51	28	16	40	14	33	休院	23	43	425
2020	36	84	27	111	休院	111	休院			24	30	31	39	8	39	34	352
2021	17	ｲﾍﾞﾝﾄ中止			36	36	11	50	休院	24	16	26	25	26	40	29	300
2022	23	ｲﾍﾞﾝﾄ中止			30	30	45	20	32	27	16	7	45	22	51	47	365
2023	42	ｲﾍﾞﾝﾄ中止			25	25	34	35	25	39	20	16	27	21	34	47	365
2024	23	ｲﾍﾞﾝﾄ中止			28	28	23	42	37	39	27	14	31	35	29	50	378
2025	41	39	16	55	31	86	36	35	24	37	41	22	35	28	32	30	447
2026	54	23	18	41	39	80	54	21									209
															合計		5,128

年別治療結果

	来院内訳			治療結果内訳						
年度	来院総数	非治療	治療数	完治	%	一部治療	%	不治	%	不明その他
2012	128	2	126	116	92.1	0	0.0	10	7.9	0
2013	315	9	306	290	94.8	4	1.3	12	3.9	0
2014	270	3	267	258	96.6	2	0.7	7	2.6	0
2015	332	7	325	307	94.5	4	1.2	14	4.3	0
2016	404	13	391	367	93.9	9	2.3	15	3.8	0
2017	415	10	405	380	93.8	7	1.7	18	4.4	0
2018	423	9	414	385	93.0	5	1.2	24	5.8	0
2019	425	14	411	390	94.9	2	0.5	18	4.4	1
2020	352	4	348	332	95.4	2	0.6	14	4.0	0
2021	300	8	292	285	97.6	0	0.0	7	2.4	0
2022	365	11	354	337	95.2	3	0.8	14	4.0	0
2023	365	3	362	348	96.1	1	0.3	13	3.6	0
2024	378	8	370	356	96.2	2	0.5	11	3.0	1
2025	447	11	436	418	95.9	4	0.9	14	3.2	0
累計	4,919	112	4,807	4,569	95.0	45	0.9	191	4.0	2

環境団体名称	おもちゃの病院（ビョウイン）エコポリス
代表者（事務局）	代表・事務局：阿部（アベ）　曉（サトル）
連絡先	TEL：090-1807-8365 Email：gyou-abe@msi.biglobe.ne.jp
登録人数	6名
団体URL	https://www.toyhospital.org/
活動内容	1.地域における保育園・小学校・中学校・児童館・ご老人ホーム等における出前授業・おもちゃの修理の活動運営を図る。 2.エコポリスセンターから要請されるイベント（行事）へ参加をする。 3.地域における親子の会話からおもちゃの病院普及活動をする。 4.会員相互の親睦に関すること。
団体紹介	基本はおもちゃの病院板橋と同様ですが、エコポリスセンターを中心に地域における小・中学校・児童館・保育園・ご老人ホーム等の出前授業を中心とした活動をしています。活動日は不定期でご依頼内容によります。
活動日	依頼先による
活動場所	エコポリスセンター・依頼先
その他・写真	1.音・光・動きを通した安価な電子機器工作キットの組み立て講習会（環境に関したＬＥＤ・パネル等）。 2.簡単なおもちゃの修理の講習会 3.エコな工作講習会。 4.使わなくなったパソコンを再生して使いましょう。

R7 年度活動実績・R8 年度活動計画おもちゃの病院エコポリス

R8.4.16・水

1．R7 年度実績

コロナ禍以来の学校関係・幼稚園・保育園からの依頼継続は無くおもちゃの病院事務局が出向き要請検討の打合せを行っていなかったことで出前活動の実績は有りません。

エコポリの主催する会議(活動連絡会・実行委員・環境会議・防災訓練等)・行事には総てではありませんが参加しております。

ボランティア活動は自己啓発・自己責任・自己犠牲であり楽しい思いを共有する仲間が集まり団体・グループ等を設立し社会・地域への貢献に寄与し差別ない老若男女区別せず活動責任を負いつつ仲間同士が互いに切磋琢磨しより良い人生に結び付けて行く活動であると思います、ただ互いの健康管理が難しく仲間との会話から何か気が付いた事は話し合うことにしたい。

2．R8 年度の計画

① 環境活動連絡会の出席

② 板橋区環境教育推進協議会の出席
　エコポリスセンターの未来

③ 他団体への交流

・いたばし水と緑の会：池の泥さらい

・NPO イタエコネット：活動として太陽光パネルを併用した蓄電池システムの応援

・おもちゃの病院板橋との修理応援

―おもちゃの病院エコポリス―

環境団体名称	さきおりの会（カイ）
代表者（事務局）	橋本（ハシモト）　明子（アキコ）
連絡先	
登録人数	5 名
団体URL	
活動内容	手織り機を使って布を裂いて「裂き織り」をする。 「裂き織り」を習得し、手織りの楽しさを体験する。
団体紹介	
活動日	特になし
活動場所	エコポリスセンター 地下 1 階 環境工作室
その他・写真	

２０２５年度　活動実績記録

４月２４日　倉庫片付け、さきおり体験、エコスクールについて話し合い

５月１２日　エコスクール打合せ　作品作り

５月２３日　エコスクール作品作り

６月　５日　エコスクール作品作り

６月３０日　エコスクール担当者との打合せ
　　エコスクール準備

７月２４日　エコスクール準備

７月２８日　エコスクール当日

９月２９日　糸の整理

１０月２７日　講師による指導

１０月３０日　講師による指導

１１月２６日　講師による指導

１１月２７日　経糸の整理、織り機に取りつける

１２月１７日　平織りを織る

１２月１８日　平織りを織る

環境団体名称	野草友の会（ヤソウトモ　カイ）
代表者（事務局）	山之内（ヤマノウチ）　富士代（フジヨ）
連絡先	
登録人数	15 名
団体URL	
活動内容	・野外観察会を年数回計画実践します。 　赤塚植物園、自然教育園、小石川植物園など ・屋内勉強会では、身近な草木を持ち寄り名前判別、生態など調べます。 ・各自栽培している種苗など交換します。 ・その他、土や植物に関する知識、また生活への活用方法など情報交換します。
団体紹介	会の発足は、前会長が 2000 年に入会される以前から現在に至ります。現会員は経験も短く前例に習い活動しています。 目標として、野山の草木に親しみ、自然を観察研究し、互いに楽しみつつ学び合い、関心を深める。 原則として、毎月 1 回、野外または屋内例会を開催し、会員相互の親睦を図ります。
活動日	月 1 回、第一月曜日
活動場所	エコポリスセンター、植物園
その他・写真	

令和7年度（2025年）野草友の会　活動報告
（定例会：毎月第1月曜日　13：30～）

月日/場所	内容	参加人数
1 月 7 日 G ホール	登録環境団体への登録申請案件についての話し合い 野草の名前調べ	8 人
2 月 21 日 G ホール	1/21　登録環境団体への申請書提出報告 野草の名前調べ。新会員　上薗さん入会	7 人
3 月 3 日 （エコポリス）	エコポリス館内見学。佐藤さんに案内をして頂いた。 当日は雪が降り、ビオトープなど内から見学。 30 年の歴史を知る。	5 人
4 月 7 日 （エコポリス）	登録環境団体として、エコポリスで会を持つ。 自己紹介。これからの活動計画について意見交換。 野草の名前調べ。	10 人
5 月 14 日 （野外）	小石川植物園観察会	8 人
6 月 2 日 （エコポリス）	小石川植物園の観察記録（上薗さん）を参考に話し合い。 野草の名前調べ。年間計画を作成（エコポリスと野外観察）	5 人
7 月 7 日 （エコポリス）	新座のキツネノカミソリ観察の日程を話し合う。 暑い時なので早朝の時間帯で活動する。 野草の名前調べ。新会員　村松さん入会。	7 人
8 月 4 日 （野外）	新座。キツネノカミソリ群生観察。3分咲き。 30度を超す暑さで早々に引き上げた。	4 人
9 月 1 日 （エコポリス）	キツネノカミソリ観察会報告。 「夢の島」日程変更（10/1～11/3） 野草の名前調べ。新会員　米澤さん入会。	6 人
10 月 6 日 （エコポリス）	鹿浜リサイクルセンター工場見学会報告 「夢の島」日程最終打ち合せ。野草の名前調べ。	9 人
11 月 3 日 （野外）	「夢の島」見学会。新木場駅集合。当日は、からっ風の 強い日でしたが、温室内を堪能しました。	10 人
12 月 1 日 （エコポリス）	「十二単衣、アジュガ、キサンソウ」の違いについて、 上薗さんの資料で学ぶ。野草の名前調べ。	9 人
2 月 14 日 （エコポリス）	上薗さん指導「冬芽観察会」（小・中学生対象）	

環境団体名称	和紙ちぎり絵の会（ワシ エ カイ）
代表者(事務局)	白石（シライシ） 環（タマキ）
連絡先	Email：tamaki.20090420@gmail.com
登録人数	7名
団体URL	
活動内容	(1) 手漉き手染め和紙を使い、その特徴を活かし身近な草花、果実、静物、風影を和紙で作成 (2) 年齢問わず作る喜びを感じてもらう (3) ハサミを使わず手でちぎる、和紙の種類も多く、繊維も有るので指の運動にもなる (4) 同一の和紙でも異なる作品が出来るのが楽しい (5) 作成する時、個人の持ち味を活かし、対面で貼り方を考える (6) 環境にも優しいハガキ・うちわ等を作り、日常で楽しく使うことが出来る (7) 最近では人と人の関わりが少なくなり、作品を通して色々な楽しい会話で大切な時間を過ごせる
団体紹介	和紙は知られていても、種類や色等の多さはまだ不透明である。仲間達はその多さで色のぼかし等、どの様に使いこなすか、自然の美の表し方を考え、楽しんでいる作品を作って感動を味わっている。その様な時に出る、どんな小さな残紙でもハガキ、その他貼る個所により、捨てることなく作る様、心掛けている。手染和紙は文化財・着物（和服）と同様に感じたので昨年から自分の作品を作り始めた。この考え方は、いずれ仲間達とも共有していきたいと思う。仲間達、もちろん自分にも和紙は奥深く、作る度に次につながる。子供達の感性に驚かされ、伸ばしていきたい。ちぎり絵を通しての時間を作る喜びと息ぬきの場所、楽しみホッとする居場所にしていけたらと思っている。
活動日	不定期
活動場所	エコポリスセンター
その他・写真	

2025 年度活動報告

2025 年 8 月 3 日　　夏休みエコスクール
2025 年 8 月 1～31 日　エコポリスセンター　ガラスショーケース展示
2025 年 12 月 14 日　ASOBU MANABU フェスタ
2026 年 2 月 7～8 日 環境なんでも見本市

板橋区立エコポリスセンター
〒174-0063　東京都板橋区前野町 4-6-1
Tel　03-5970-5001　Fax　03-5970-2255
HP：https://itbs-ecopo.jp/
（指定管理者）　板橋エコみらいプロジェクト

【登録環境団体 ハンドブック 2026 年度】　2026 年 10 月発行